メールソフトの設定方法 Thunderbird

POP3 の設定方法

【1】メールソフトの起動: Thunderbird を起動します。



【2】システム統合のダイアログが表示された場合は[統合をスキップ]ボタンをクリックしてください。

システム統合
Thunderbird を次の既定のクライアントとして使用する:
▼ メール
□ ニュース
フィード
📄 Windows Search によるメッセージの検索を許可する(<u>S</u>)
📄 起動時に Thunderbird が既定のクライアントとして設定されているか確認する(A)
既定として設定 統合をスキップ

【3】アカウント画面で新しいアカウント作成:[メール]をクリックします。

]	- • ×
👱 受信 👻 🥒 作成 🗬 チャット	 ・	₽ ≡
	Thunderbird	
	アカウント	
	二 新しいアカウント作成:	
	🖂 メール 🗟 チャット 🖓 ニュースグループ 🔊 フィー	۴
· 完了		H.

【4】新しいメールアドレスを使いたい方という画面の下部にある[メールアカウントを設定する]ボタンをクリックします。

Thunderbird のご利用ありがとうございます	×
新しいメールアドレスを使いたい方	
氏名またはニックネーム	検索
いくつかのブロバイダとの提携により、Thunderbird が新しいメールアカウントを提供しま アドレスを検索するため、ご氏名または好きな言葉を上のテキストボックスに入力してく み)。	ます。利用可能なメール ださい (半角英数字の)
🔲 🖹 gandi.net 📄 🌊 Hover.com	
検索語句は、利用可能なメールアドレスを見つける目的で Mozilla (<u>プライバシーポリシ</u> メールプロバイダ に送信されます。	<u>ー</u>) とサ <i>ードパーティ</i> の
メールアカウントを設定するこのウィンドウを閉じて行	きで設定する
検索語句は、利用可能なメールアドレスを見つける目的で Mozilla (<u>ブライバシーボリシ</u> メールブロバイダ に送信されます。 メールアカウントを設定する このウィンドウを閉じて得	<u>ー</u>)とサードバーティの たで設定する

【5】メールアカウント設定画面でメールアカウントの情報を設定します。

メールアカウント設定		
あなたのお名前(<u>N</u>): メールアドレス(<u>L</u>): パスワード(<u>P</u>):	会社のメール example@example.com ●●●●●●●● ▼ パスワードを記憶する(<u>M</u>)	通信者に表示される名前です。
		2
「新しいアカウントを	:取得(G)	続ける(<u>c</u>) キャンセル(<u>A</u>)

あなたのお名前	受信者に表示される名前です。
メールアドレス	サーバーのコントロールパネルで設定したメールアドレスを入力します。
パスワード	サーバーのコントロールパネルで設定したメールアカウントのパスワードを
	入力します。
パスワードを記憶する	チェックを入れます。

上記内容を入力後、[続ける] ボタンをクリックします。

【6】 入力したアカウント設定の情報からメールサーバーの検索が開始されますが、手動で設定するため、

[手動設定] ボタンをクリックします。

会社のメール	受信者に表示される名前です。
example@example.com	
••••	
▼ パスワードを記憶する(M)	
ルサーバを一般的なサーバ名で検索しています	r. 🔾
(得(G) 手動設定(M) 中止(S)	続ける(C) キャンセル(A)
	会社のメール example@example.com ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

【7】メールサーバーの情報を入力します。

メールアカウント設定							×
あなたのお名前(<u>N</u>):	会社の)メール		受信者	に表示される名前です	•	
メールアドレス(<u>L</u>):	exam	iple@example.com					
パスワード(<u>P</u>):	•••						
	マ パ	スワードを記憶する(<u>M</u>)					
		サーバのホスト名	术-	- 卜番号	SSL	認証方式。	
受信サーバ: POP3	•	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp	ポ- 自動	- 卜番号	SSI 自動検出 ・	認証方式 自動検出 ▼	1
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP	•	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp	ポー 自動 自動	- 卜番号 b	SSI 自動検出 • 自動検出 •	認証方式 自動検出 ▼ 自動検出 ▼]
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	►_/(:	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ← example@example.com	ポー 自重 自重	- <u>► 番号</u> b - b -	SSI 自動検出 ・ 自動検出 ・ 送信サーバ:	認証方式 自動検出 ▼ 自動検出 ▼ example@example.com	
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	► 	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・ example@example.com	ポー 自重 自重	- 卜番号 b 、 •	SSI 自動検出 ▼ 自動検出 ▼ 送信サーバ:	認証方式 自動検出 ● 自動検出 ● example@example.com	
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ		サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・ example@example.com	ポー 自重 自重	- 卜番号 b	SSI 自動検出 ▼ 自動検出 ▼ 送信サーバ:	認証方式 自動検出 ● 自動検出 example@example.com	
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ 新しいアカウントを	・ トーバ: 取得(<u>G</u>)	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp example@example.com	ポー 自重 自重	- 卜番号 b	SSI 自動検出 ▼ 自動検出 ▼ 送信サーバ: 再テスト(I	認証方式 自動検出 ◆ 自動検出 ◆ example@example.com	

受信サーバー	POP3
サーバーのホスト名	メールサーバー名を入力します。
ポート番号	自動
SSL	自動検出
認証方式	自動検出
送信サーバー	SMTP
サーバーのホスト名	メールサーバー名を入力します。
ポート番号	自動
SSL	自動検出
認証方式	自動検出
ユーザ名	サーバーのコントロールパネルで設定したメールアドレスを入力し
	ます (@以降のドメイン名も含めて入力してください)。

[再テスト] ボタンをクリックします。

【8】 再テスト後に再度設定項目を入力します。

「ルアカワント設定				
あなたのお名前(<u>N</u>):	会社のメール	受信者	に表示される名前です。	
メールアドレス(<u>L</u>):	example@example.com			
パスワード(<u>P</u>):	•••••			
	☑ パスワードを記憶する(<u>M</u>)			
次のアカウント設定カ	「、指定されたサーバを調べることによ	り見つかりまし	t	
	サーバのホスト名	ポート番号	SSL	認証方式
受信サーバ: POP3	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp 	ポート番号 110 ▼	SSL 接続の保護なし マ	認証方式 通常のパスワード認証
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp	ポート番号 110 、 587 、	SSL 接続の保護なし マ 接続の保護なし マ	認証方式 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・ ーバ: example@example.com	ボート番号 110 ↓ 587 ↓	SSL 接続の保護なし ▼ 接続の保護なし ▼ 送信サーバ:	認証方式 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証 example@example.com
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・ +ーバ: example@example.com	ポート番号 110 ▼ 587 ▼	SSL 接続の保護なし ▼ 接続の保護なし ▼ 送信サーバ:	認証方式 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証 example@example.com
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp +バ: example@example.com	ポート番号 110 ↓ 587 ↓	SSL 接続の保護なし ▼ 接続の保護なし ▼ 送信サーバ:	認証方式 通常のパスワード認証
受信サーバ: POP3 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ 新しいアカウントを	サーバのホスト名 ■ af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ■ af999.secure.ne.jp ■ com ■	ボート番号 110 ▼ 587 ▼	SSL 接続の保護なし ▼ 接続の保護なし ▼ 送信サーバ: 再テスト(I)	認証方式 通常のパスワード認証 ・ 通常のパスワード認証 ・ example@example.com

受信サーバー	POP3
サーバーのホスト名	メールサーバー名を入力します。
ポート番号	110
SSL	接続の保護なし
認証方式	通常のパスワード認証
送信サーバー	SMTP
サーバーのホスト名	メールサーバー名を入力します。
ポート番号	587
SSL	接続の保護なし
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザ名	サーバーのコントロールパネルで設定したメールアドレスを入力し
	ます (@以降のドメイン名も含めて入力してください)。

[完了] ボタンをクリックします。

【9】警告画面の確認

警告画面が表示されます。受信サーバー、送信サーバーへの通信を暗号化するためには、[設定変更]ボ タンをクリックして設定を変更します(暗号化の設定については別途説明しております)。

この状態で一度設定を完了するためには[接続するうえでの危険性を理解しました]にチェックを入れて 完了ボタンをクリックしてください。



IMAP の設定方法

【1】メールソフトの起動: Thunderbird を起動します。



【2】システム統合のダイアログが表示された場合は[統合をスキップ]ボタンをクリックしてください。

システム統合
Thunderbird を次の既定のクライアントとして使用する:
☑ メール
□ ニュース
📄 Windows Search によるメッセージの検索を許可する(<u>S</u>)
📄 起動時に Thunderbird が既定のクライアントとして設定されているか確認する(A)
既定として設定 統合をスキップ

【3】アカウント画面で新しいアカウント作成:[メール]をクリックします。

]	- • ×
👱 受信 👻 🥒 作成 🗬 チャット	 ・	₽ ≡
	Thunderbird	
	アカウント	
	二 新しいアカウント作成:	
	🖂 メール 🗟 チャット 🖓 ニュースグループ 🔊 フィー	۴
· 完了		H.

【4】新しいメールアドレスを使いたい方という画面の下部にある[メールアカウントを設定する]ボタンをクリックします。

Thunderbird のご利用ありがとうございます
新しいメールアドレスを使いたい方
氏名またはニックネーム 検索
いくつかのプロバイダとの提携により、Thunderbird が新しいメールアカウントを提供します。利用可能なメール アドレスを検索するため、ご氏名または好きな言葉を上のテキストボックスに入力してください(半角英数字の み)。
🗐 👸 gandi.net 📄 🌈 Hover.com
検索語句は、利用可能なメールアドレスを見つける目的で Mozilla (<u>プライバシーポリシー</u>) とサードパーティの メールプロバイダ に送信されます。
メールアカウントを設定する このウィンドウを閉じて後で設定する

【5】メールアカウント設定画面でメールアカウントの情報を設定します。

メールアカウント設定		
あなたのお名前(<u>N</u>): メールアドレス(<u>L</u>): パスワード(<u>P</u>):	会社のメール example@example.com ●●●●●●●● ▼ パスワードを記憶する(<u>M</u>)	通信者に表示される名前です。
		2
「新しいアカウントを	:取得(G)	続ける(<u>c</u>) キャンセル(<u>A</u>)

あなたのお名前	受信者に表示される名前です。
メールアドレス	サーバーのコントロールパネルで設定したメールアドレスを入力します。
パスワード	サーバーのコントロールパネルで設定したメールアカウントのパスワードを
	入力します。
パスワードを記憶する	チェックを入れます。

上記内容を入力後、[続ける] ボタンをクリックします。

【6】 入力したアカウント設定の情報からメールサーバーの検索が開始されますが、手動で設定するため、

[手動設定] ボタンをクリックします。

メールアカウント設定		×
あなたのお名前 <u>(N</u>):	会社のメール	受信者に表示される名前です。
メールアドレス <u>(L</u>):	example@example.com	
パスワード(P):	•••••]
	☑ パスワードを記憶する(M)	
アカウント設定のメー	-ルサーバを一般的なサーバ名で検索していま	₫。 ○
新しいアカウントを	取得(G) 手動設定(M) 中止(S) 続ける(C) キャンセル(A)

【7】メールサーバーの情報を入力します。

(ールアカウント設定								×
あなたのお名前(<u>N</u>):	会社の)メール		受信者	に表示される名前です	đ.		
メールアドレス(<u>L</u>):	exam	iple@example.com						
パスワード(<u>P</u>):	•••							
	マパ	スワードを記憶する(<u>M</u>)						
次のアカウント設定力	バ、指定	されたサーバを調べることにより	見つか	りまし	t.			
		サーバのホスト名	术—	ア耕加	551	-	罗菲方式	
受信サーバ: IMAP	•	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp	ポー 143		ssi 接続の保護なし 、	•	2011方式 通常のパスワード認証	-
受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP	•	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・	ポー 143 587	<u>卜爰</u> 号 ▼	SSI 接続の保護なし 接続の保護なし	•	2011 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証	•
受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	►_/(:	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・ example@example.com	7t ²	<u>▶ 乗</u> ▼	ssi 接続の保護なし 接続の保護なし 送信サーバ:	-	^{波証方式} 通常のパスワード認証・ 通常のパスワード認証・ example@example.com	•
受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	+-J(:	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・ example@example.com	ポー 143 587	\ <u>₩</u> = ▼	SSI 接続の保護なし 接続の保護なし 送信サーバ:	•	^{波証 方式} 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証 example@example.com	
受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	-)(:	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp example@example.com	ポー 143 587	\ <u>₩</u> 8	SSI 接続の保護なし 接続の保護なし 送信サーバ:		図証方式 通常のパスワード認証 ・ 通常のパスワード認証 example@example.com	
受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ 新しいアカウントを	▶ ►-ノ〔: 取得(<u>G</u>	サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ▼ example@example.com	ポー 143 587	<u>▶ 業号</u> ▼ ▼	SSI 接続の保護なし 接続の保護なし 送信サーバ: 再テスト(; • (• ([図証方式 通常のパスワード認証 ・ 通常のパスワード認証 ・ example@example.com	

受信サーバー	IMAP
サーバーのホスト名	メールサーバー名を入力します。
ポート番号	自動
SSL	自動検出
認証方式	自動検出
送信サーバー	SMTP
サーバーのホスト名	メールサーバー名を入力します。
ポート番号	自動
SSL	自動検出
認証方式	自動検出
ユーザ名	サーバーのコントロールパネルで設定したメールアドレスを入力し
	ます (@以降のドメイン名も含めて入力してください)。

[再テスト] ボタンをクリックします。

【8】 再テスト後に再度設定項目を入力します。

ルアカウント設定								×
あなたのお名前(<u>N</u>):	会社の	メール		受信者	に表示される名前で	きす。		
メールアドレス(<u>L</u>):	exam	iple@example.com						
パスワード(<u>P</u>):	•••							
	V. 10	スワードを記憶する(<u>M</u>)						
والطوري المرجع بالمرجع والمرجع	る 増売	さわち井 げち調がスフレル上的	見つか	りました	2.			
次のアカワント設定カ	IN TEAC	されにリーハを調べることにより	10 275		-			
次のアカウント設定カ		- C1 いこり一八 径詞 へることにより	70 275		-			
次のアカウント設定カ		・Cイルビリーハを調べることにより サーバのホスト名	ポー	卜番号	SSL		認証方式	-
次のアカウント設定カ 受信サーバ: IMAP		セイバビリーバを調べることにより サーバの木スト名 af999.secure.ne.jp	ポー 143	▶番号 ▼	SSL 接続の保護なし	•	認証方式	•
次のアカウント設定カ 受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP		セイルビリーハを調べることにより サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp	ポー 143 587	ト番号 ▼	SSL 接続の保護なし 接続の保護なし	•	認証方式 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証	•
次のアカウント設定カ 受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	· 一八:	セイバビリーバを調べることにより サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・ example@example.com	ポー 143 587	ト番号 ▼ ▼	SSL 接続の保護なし 接続の保護なし 送信サーバ:	•	認証方式 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証 example@example.com	•
次のアガウント設定カ 受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ	・ ・ ーバ:	セイルビリーハを調べることにより サーバの木スト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ・ example@example.com	ポー 143 587	卜番号 ▼ ▼	SSL 接続の保護なし 接続の保護なし 送信サーバ:	•	認証方式 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証 example@example.com	•
火のアカウシト設定カ 受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ		サーバのホスト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp example@example.com	ポー 143 587	ト番号 ▼ ▼	SSL 接続の保護なし 接続の保護なし 送信サーバ:	•	認証方式 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証 example@example.com	
双のアカウント設定カ 受信サーバ: IMAP 送信サーバ: SMTP ユーザ名: 受信サ 新しいアカウントを	▼	セイバクリーバを調べることにより サーバの木スト名 af999.secure.ne.jp af999.secure.ne.jp ▼ example@example.com	ポー 143 587	ト番号 ▼ ▼	SSL 接続の保護なし 接続の保護なし 送信サーバ: 再テスト	• •	認証方式 通常のパスワード認証 通常のパスワード認証 example@example.com	 ▲)

受信サーバー	IMAP
サーバーのホスト名	メールサーバー名を入力します。
ポート番号	143
SSL	接続の保護なし
認証方式	通常のパスワード認証
送信サーバー	SMTP
サーバーのホスト名	メールサーバー名を入力します。
ポート番号	587
SSL	接続の保護なし
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザ名	サーバーのコントロールパネルで設定したメールアドレスを入力し
	ます (@以降のドメイン名も含めて入力してください)。

[完了] ボタンをクリックします。

【9】警告画面の確認

警告画面が表示されます。受信サーバー、送信サーバーへの通信を暗号化するためには、[設定変更]ボ タンをクリックして設定を変更します(暗号化の設定については別途説明しております)。

この状態で一度設定を完了するためには[接続するうえでの危険性を理解しました]にチェックを入れて 完了ボタンをクリックしてください。

メールアカウント設定		×
	 警告! 受信サーパ設定: m199.secure.ne.jp への接続は暗号化されません。 ▶ 技術的な詳細 送信サーパ設定: m199.secure.ne.jp への接続は暗号化されません。 ▶ 技術的な詳細 提供された設定を使用して Thunderbird であなたのメールを受信することができます。ただし、これらの接続が不適当でないか、サーバの管理者またはメールプロバイダと連絡をとってください。詳しい情報は Thunderbird FAQ をご覧ください。 	
	 ■ 接続する上での危険性を理解しました(<u>U</u>) 設定変更(<u>S</u>) 完了(<u>D</u>) 	

POP over SSL, SMTP over SSL, IMAP over SSL

お客様がご利用のパソコンやモバイルデバイスと、当社メールサーバー間の通信を SSL サーバー証明書 により暗号化することができます。メールソフトにて POP over SSL、SMTP over SSL、IMAP over SSL を 設定することによりお客様がご利用のパソコンやモバイルデバイスと、当社メールサーバー間でやり取 りされるメールの内容やパスワード情報を暗号化します。

POP over SSL/SMTP over SSL の設定方法

上記で説明した POP3 の設定の詳細設定の一部の設定を変更することにより、POP over SSL を利用煤ことができます。SMTP over SSL の設定と合わせて説明します。

【1】メールソフトの起動: Thunderbird を起動します。



【2】アカウントの[設定]、または[このアカウントの設定を表示する]をクリックします。



【3】アカウント設定画面でメールアカウントの情報を設定します。

アカウント設定	
アカウント設定 a example@example.com サーバ設定 送信控えと特別なフォルダ 編集とアドレス入力 迷惑メール ディスク領域 開封確認 セキュリティ a Local Folders 迷惑メール	サーバ設定 サーバの種類: POP メールサーバ サーバ名(S): af999.secure.ne.jp ユーザ名(N): example@example.com セキュリティ設定 接続の保護(U): SSL/TLS 認証方式(I): 通常のパスワード認証
ビール ディスク領域 送信 (SMTP) サーバ	サーバ設定 ■ ▼ 新着メッセージがないか起動時に確認する(C) ▼ ▼ 新着メッセージがないか(Y) 10 ● 分ごとに確認する ● ● 新着メッセージを自動的にダウンロードする(M) ● ● ヘッダのみ取得する(E) ● ● ダウンロード後もサーバにメッセージを残す(G) ● ● ダウンロードしてから(Q) 14 ● 日以上経過したメッセージは削除する ● ● ダウンロードしたメッセージを削除したらサーバからも削除する(D) ●
アカウント操作(<u>A</u>) ・	メッセージの保存 □ 終了時にごみ箱を空にする(X) メッセージの格納形式(I): 一個の大きなファイル (mbox 形式) メッセージの格納形式(I): 一個の大きなファイル (mbox 形式) マ OK キャンセル

サーバー設定	
接続の保護	SSL/TLS →ポート番号が 995 に変更されます。
認証方式	通常のパスワード認証

【4】アカウント設定画面で送信サーバーの情報を設定します。

アカウント設定	
▲ example@example.com サーバ設定	送信 (SMTP) サーバの設定
送信控えと特別なフォルダ 編集とアドレス入力	複数の差出人情報を管理している場合、使用する送信 (SMTP) サーバをこのリストから選択できます。[既定の サーバを使用する] を選択すると、このリストの既定のサーバを使用します。
迷惑メール ディスク領域	example@example.com - af999.secure.ne.jp (既定) 追加(D)
	編集(E)
د الحديث المعالم المعا المعالم المعالم	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
述惑メール ディスク領域	説明: example@example.com
送信 (SMTP) サーバ	サーバ名: af999.secure.ne.jp ポート: 587
	ユーザ名: example@example.com 認証方式: 平文のパスワード認証 (安全でない)
	接続の保護: なし
アカウント操作(<u>A</u>) ・	
	OK

【5】送信サーバーの設定項目を選択し[編集]ボタンをクリックし、以下の情報を変更してください。

送信 (SMTP) サーバ	
設定	
説明(<u>D</u>):	example@example.com
サーバ名(<u>s</u>):	af999.secure.ne.jp
ポート番号(<u>P</u>):	465 릦 既定値: 465
セキュリティと認証	
接続の保護(<u>N</u>):	SSL/TLS -
認証方式(<u>I</u>):	通常のパスワード認証 ▼
ユーザ名(<u>M</u>):	example@example.com
	OK キャンセル

サーバー設定	
接続の保護	SSL/TLS →ポート番号が 465 に変更されます。
認証方式	通常のパスワード認証

上記設定を確認して [OK] ボタンをクリックします。

IMAP over SSL/SMTP over SSL の設定方法

上記で説明した IMAP の設定の詳細設定の一部の設定を変更することにより、IMAP over SSL を利用煤こ とができます。SMTP over SSL の設定と合わせて説明します。

【1】メールソフトの起動: Thunderbird を起動します。



【2】アカウントの[設定]、または[このアカウントの設定を表示する]をクリックします。

🛐 example@example.com	
②受信 ▼	≥ (م
Compared Second Systematics Aiii - example@example.com Systematics Systematics Systematics Systematics Systematics Compared Second Systematics Compared Second Systematics Compared Second Systematics Systematics Compared Second Systematics Compared Second Systematics Systematics Compared Second Systematics Systematics Compared Second Systematics Systematics Systematics Compared Second Systematics Sys]
高度な機能	
Q、メッセージを検索する	
メッセージフィルタの設定を変更する	
ダウンロードされたメッセージはありません	

【3】アカウント設定画面でメールアカウントの情報を設定します。

アカウント設定	
 example@example.com サーバ設定 送信控えと特別なフォルダ 編集とアドレス入力 迷惑メール 同期とディスク領域 開封確認 セキュリティ Local Folders 迷惑メール ディスク領域 送信 (SMTP) サーバ 	サーバ設定 ・ サーバの種類: IMAP メールサーバ ボート(E): サーバ名(S): af999.secure.ne.jp ボート(E): コーザ名(N): example@example.com ・ セキュリティ設定 ・ 接続の保護(U): SSL/TLS 認証方式(I): 通常のパスワード認証 ・ ・ サーバ設定 ・ 「新着メッセージがないか起動時に確認する(C) ・ 「新着メッセージがないか(Y) 10 、分ごとに確認する メッセージを削除する時: ・ ・ 次のフォルダに移動する(Q): ・ フォルダを選択してください… ・ ・ 削除済みとマークする(K) ・ すぐに削除する(D)
アカウント操作(<u>A</u>) ・	 メッセージの保存 ○ 終了時に受信トレイを整理 (expunge) する(E) ○ 終了時にごみ箱を空にする(X) メッヤージの格納形式(T): 一個の大きなファイル (mbox 形式) ✓ OK

サーバー設定	
接続の保護	SSL/TLS →ポート番号が 993 に変更されます。
認証方式	通常のパスワード認証

【4】アカウント設定画面で送信サーバーの情報を設定します。

アカウント設定	
▲ example@example.com サーバ設定	送信 (SMTP) サーバの設定
送信控えと特別なフォルダ	複数の差出人情報を管理している場合、使用する送信 (SMTP) サーバをこのリストから選択できます。[既定の サーバを使用する] を選択すると、このリストの既定のサーバを使用します。
迷惑メール 同期とディスク領域	example@example.com - af999.secure.ne.jp (既定) 追加(D)
開封確認	編集(E)
▲ Local Folders 迷惑メール	既定値に設定(工)
ディスク領域 送信 (SMTP) サーバ	説明: example@example.com
	サーバ名: af999.secure.ne.jp ポート: 587
	ユーザ名: example@example.com 認証方式: 平文のパスワード認証 (安全でない)
	接続の保護: なし
アカウント操作(A)・	OK キャンセル

【5】送信サーバーの設定項目を選択し[編集]ボタンをクリックし、以下の情報を変更してください。

送信 (SMTP) サーバ	
設定	
説明(<u>D</u>):	example@example.com
サーバ名(<u>S</u>):	af999.secure.ne.jp
ポート番号(<u>P</u>):	465 曼 既定値: 465
セキュリティと認証	
接続の保護(<u>N</u>):	SSL/TLS -
認証方式(<u>I</u>):	通常のパスワード認証 ▼
ユーザ名(<u>M</u>):	example@example.com
OK キャンセル	

サーバー設定	
接続の保護	SSL/TLS →ポート番号が 465 に変更されます。
認証方式	通常のパスワード認証

上記設定を確認して [OK] ボタンをクリックします。